

# なきごえ



1967

**10**

大阪市  
天王寺動物園

## ふくろう ふくろう目 ふくろう科

ふくろうの仲間には、ふくろうと呼ばれているものとみみずくと呼ばれているものがあります。

この仲間は、広く世界に分布していて、種類も200余種におよんでいます。

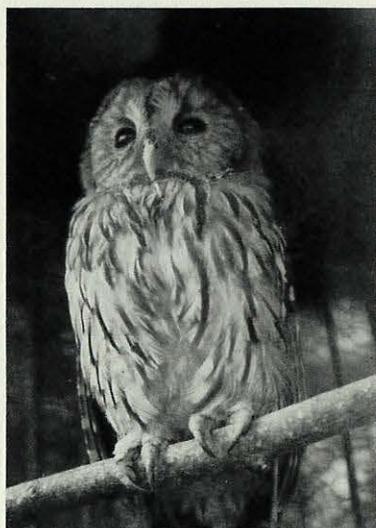
みみずくと呼ばれるものには、飾り羽といって頭の両側に毛が立っていて、そたが耳に似ているからこの名があります。でも、この下に耳があるというわけではありません。

こゝで紹介するふくろうは、主に本州にのみ生息するものです。ふくろうは夜に行動を起す夜鳥のため、昼間はほとんど目につきませんが、比較的多くすんでいて動物園にもときどき寄贈を受けます。大阪市内の社や墓地のこんもりとした木立のあるところには、今でもすみついているようです。

写真のふくろうも、この6月に寄贈を受けたときは、うぶ毛で被われた雛鳥でしたが、鶏の頭、鱈などでこのように立派に育ちました。

ふくろうが夜になると、ホー、ホーと鳴く声は夜のさびしさを一層身に感じさせます。昼は森の大木の空洞やたかの古巣や樹の根元で一日中眠っていて、夜になると活動します。ねらう餌物は夜間原野や畑地に現われる野鼠、兎、りす、小鳥です。特に野鼠を主に捕獲するので益鳥とされています。

餌物をつかんだら放さないするどい爪のついた



ゆび 趾をしています、あし わしたか 脚は鷲鷹の類と比較すると短かく木に止っていると趾のところしか見えません。また一番外側の趾が前に行ったり、後に来たり自由に動かすことの出来るのもふくろうの特徴のひとつです。

翼長は300~330mm、北海道にすむしまふくろうは500mm、このはづくが145mmですから、本邦にすむふくろうの仲間では中型に属しています。

又、ふくろうの仲間は、夜行性のため眼が極端に大きく、飾り羽をつけたり、このふくろうのよ

うに、顔の部分がはっきり分るような毛なみがありますので、夜行性であることゝ共に忍者が覆面をつけたようなので、子供たちに人気があります。昼間は何事にも無関心を装って眠むような顔をしています。しかし夜、動物舎を巡回していきますと、昼間とは違って生き生きとした眼と、活発な動作を見ることができます。

(松岡恵爾)

### 表紙の写真説明

オリックス

オリックスはアフリカの草原にたくさん群れをたぐってすんでいます。

長い角と美しい毛が特徴ですが、大へん気性が荒い。この9月8日に赤ちゃんが生まれました。

## やぎの飼い方

やぎといえばあごひげのある可愛い愛嬌のある動物だということを誰でも思い出します。また、あの鳴声は何となく淋しく、そぞろ哀れを誘う感じがするものです。

やぎの乳は滋養分が豊富で消化がよく、結核菌汚染の心配がありませんので安心して飲用されています。

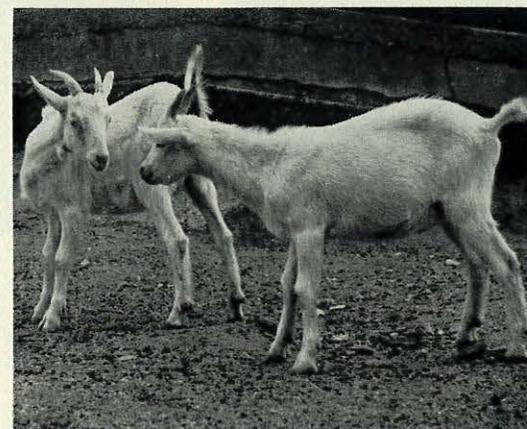
我国に飼育されている品種はザーネン種系のもが多く、気候風土に適しますので広く飼育されています。

やぎは体が丈夫で病気にかゝることが割合少なく、粗食にたえ飼料もあまり多くいりませんので手軽に飼うことができます。成長したやぎで1日1頭あたりの飼料は青草にして約10kgで、春夏秋は青草を、冬期は干し草を与えて下さい。やぎはとくに高燥なところを好みますので、じめじめした低湿地で飼養してはいけません。

やぎ舎は南向きで、夏涼しく、冬暖く乾燥したところにつくって下さい。広さは1頭あたり1.3m四方あればいいと思います。

飼料の給与は1日2回で、濃厚飼料(ペレット)の給与量は親やぎで0.5kg、これに、青草、干し草、根菜類を細かに切って混ぜて与えます。ことに妊娠中のものには胎児の発育につれて食欲を増してきますから、飼料を多く与えて充分栄養をつけてやって、丈夫な仔やぎを得るようにします。あわせて産後の乳量の増加を計ります。

繁殖に適する年齢は2才から7~8才までです。やぎの発情は秋が一番強く現われます。9月より12月頃までは3週間毎に繰り返してその期間は2~3日位続きます。発情の徴候としては、挙動が不穏となり、しきりに鳴き、尾を盛んにふります。受胎率は発情の初期より後期の方が高い。この期間に交配させます。妊娠期間は約150日ですので、2月~5月頃に分娩させて春の若草を充分与えるようにします。



やぎの分娩は、安産です。人手を要することはほとんどありません。仔やぎは30分位で起き上り、親やぎの乳を飲みはじめますが、中には乳をやらないこともありますので、この場合、親やぎをつかまえ、強制的に乳房にすいつかせるようにします。仔やぎは生後3週間目位から飼料を食べるようになりますので、消化のよいもの(ふすま、青草)を与え、大きくなるにつれて量を増していき、生後3カ月位で離乳させます。

飼養するにあたっては常に挙動、排糞に注意し、特に糞については、ポロポロしていることが健康のしるしですので、異常を認めた場合には初期に手当をすることが大切です。たゞ病気でこわいのは腰麻痺で、この病気にかゝるとやぎとしての価値がなくなってしまいます。

(林 邦彦)

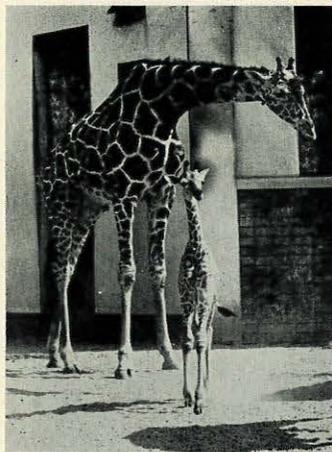
### なきごえ 10月号もくじ

動物の紹介(ふくろう).....	2
飼い方シリーズ(やぎの飼い方).....	3
動物園グラフ.....	4. 5
ペットを訪ねて.....	6
動物園ニュース.....	7

# 動物園グラフ

## “赤ちゃんゾクゾク誕生”

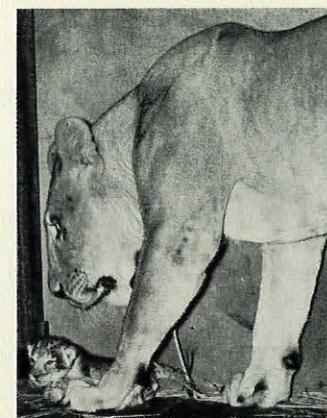
今年は、近来にないベビーブームで、可愛い赤ちゃんたちが皆様のお越しをお待ちしています。  
あどけないベビーたちの表情をご覧ください。



← きりん  
8月7日生まれ(めす)  
名前はこの秋の動物園まつりのときに皆さんにつけてもらう予定です。(きりん舎)



↑ マレージャこうねこ  
一見たぬきのような顔をしています。(小獣舎)



↑ →



←あかカンガルー

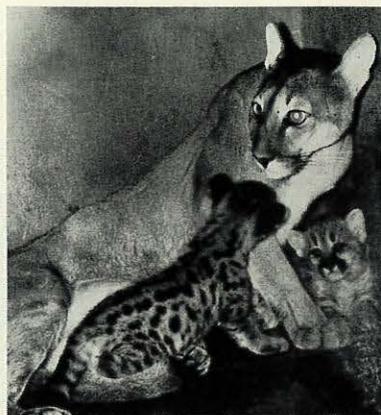
もうすぐ赤ちゃんが袋から顔をのぞかせるでしょう。

ライオン

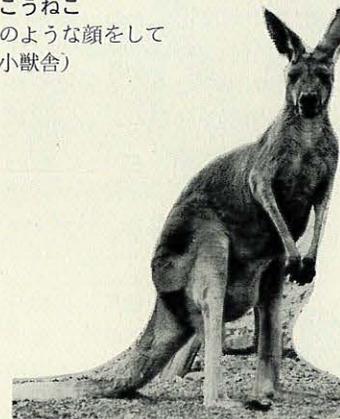
右は4月11日に人工哺育して育てました。  
左は9月11日生まれ、こんどは母親が大事に育てています。(ライオン舎)



←とびかもしか  
6月24日生まれ(めす)  
とびかもしかは、アフリカの草原に群をつくっています。  
とびかもしかの出産はめずらしい。  
右は父親。(かもしか園)



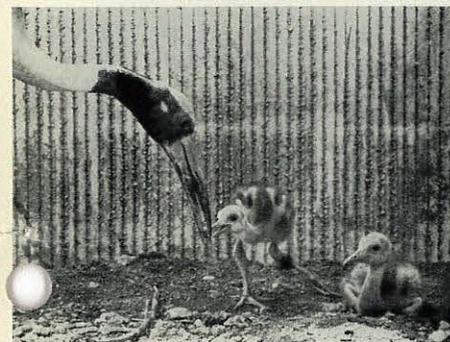
← ビューマ(アメリカライオン)  
8月7日生まれ、これで3年連続のおめでたです。(猛獣舎)



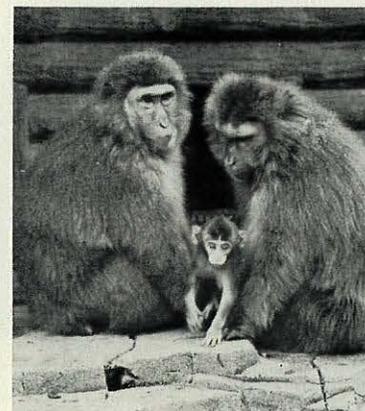
← にほんしか  
毎年6~7月にかけて生まれています。(しか舎)



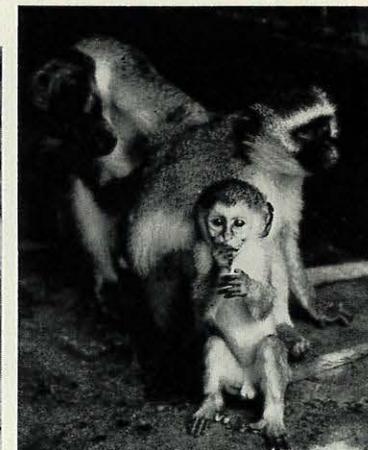
しゅばしこう(ヨーロッパ → ころのとりの)  
今年で4年連続のふ化。  
今年は2羽両親がふ化させ育てました。  
(大フライングゲージ)



↑ おおづる  
9月1日と4日にそれぞれふ化しました。抱卵はおすとめす交互で、30日間かゝりました。(つる舎)



↑ にほんざる  
母親ざるは、他のどの動物よりも赤ちゃんを可愛いがります。(さる島)



↑ みどりざる  
6月生まれ(おす)もうすっかりヤンチャになりました。(さるアパート)

## 9月動物園日記

1. おおづるが1羽ふ化しました。  
ひげペンギンが腸に結石ができて死にました。昭和36年に南極大陸からやってきて、子供たちの人気を集めていました。
4. おおづるの2羽目のひながふ化しました。(グラフ)
6. おとめづくろいんこ1羽が寄附されました。
7. ビューマの赤ちゃんを初めて運動場に出し、一般入園者にお目見得しました。
8. オリックスの赤ちゃんが生まれました。(表紙写真) しまうま、しろくまなどに駆虫剤を飲ませました。
11. ライオンおす1頭が生まれました。この出産は今年2度目で

- 今度は母親ライオンが、よくめんどろをみてお乳も飲ましています。
12. はなしかに今年4頭目の赤ちゃんが生まれました。
14. 野犬が園内にたくさん侵入して、くじゃくなどに被害を与えましたので、野犬対策を講じることにしました。
15. “敬老の日”を迎えて戦前から動物園にいるエミューに動物愛護会から花環が贈られ、長命を祝ってもらいました。
15. インドゾウの春子さんは、客の投げた餌を拾おうとして堀に転落しました。幸いけがはありませんでしたが、上にあげるのが大変で、夕方おそくまでかゝってしまいました。
16. 放し飼いでいる、ももいろペリカン3羽を切羽しました。にほんしか1頭が生まれました。

- 例年、6~7月頃に生まれるにほんしかがこんなに遅くなって生まれるのは珍しいことです。  
オリックスの赤ちゃんを初めて母親といっしょに運動場に出してやりました。
17. 涼になってきましたので、夏の間はってあつた日覆いなどを取り除きました。又、冬に必要な暖房電球の購入などをポチポチ始めています。
18. 上野動物園でふ化したインドにしきへび3匹が、入園しました。1匹の長さ、68cm、体重140gです。  
ペルシャねこ1頭が寄附されました。
19. 南園さるアパートの補修工事ははじまりました。
20. ちょうせんやまねこに駆虫剤を飲ませました。

21. 朝晩の冷え込みが加わってきましたので、動物園で一番寒がりやのインドにしきへび2匹を暖房設備のある部屋に移してやりました。  
動物愛護週間を迎えて、動物園に飼育している犬たちに、10年間も毎日えさを運びつづけた、荒井マヌエさんに、動物園長から感謝状が贈られました。
23. この間生まれたはなしかの赤ちゃんは成育不良で惜しくも死にました。
24. 家畜動物総合感謝祭が行なわれました。これには動物代表として、ゴリラのゴロちゃん、チンパンジーのキャンデーちゃん、ふたこぶらぐだが参列しました。  
動物愛護者と動物愛護図画の入選者の表彰が行なわれました。乳牛の搾乳実演が行なわれました。

# ペットを訪ねて

## トカゲと私

神戸市生田区加納町4-1

田中富典さん

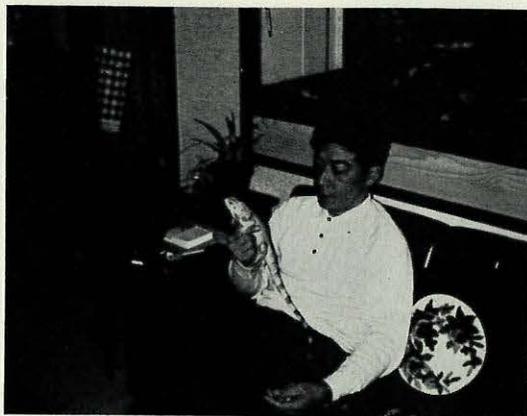
熱帯魚や小鳥を飼って楽しんでいる家庭はあっても、トカゲやヘビを飼っている家庭は大変珍しい。

しかし、一見、無気味で虫ズの走るようなこの生き物も飼ってみるとその姿、かたちに似合わず愛嬌があり、素朴な野生味を失わぬその根生に人はとりこになる。

阪急三宮駅近くの繁華街の一角に、大きな料亭を経営している田中さんもその一人。

根っからの動物好きで、それも犬、猫や小鳥には興味はなく、山野にすむ野生味タツプリーな動物を捕えて育てるのが好き。

「4才の頃、おじいさんに連れられて、どじょう取りに行きそこに異様な姿をした生き物を見付けました。それがイモリでした。そのグロテスクな姿にみせられてドジョウはそっちのけでイモリばかり持って帰った。」これがイモリやトカゲの



相手の始まり。中学生時代は蝶に凝り、戦後はいち早く熱帯魚を手掛けたがあまりブームになり過ぎたので嫌になってこれもやめた。

昨春、ふと店先でグリーンイグアナを見たのが再会のキッカケ。早速買って帰ったが奥さんが猛反対。やっととき伏せて飼う事になったがハタと困った。何しろ、飼育法がわからない、参考書や専門家に当たっても要領を得ない。仕方なく、野菜、果物、肉、卵、昆虫と様々なものを工夫した結果、サラダ菜が好物とわかった。それ以来次から次へと増え、最盛期には8種30点のトカゲを集めた。

「今いるのは、南米産テグー、東南アジアのミズトカゲ、バナナス、トッケイなど20~30センチ

から1メートル位のトカゲが12~13頭。中でもイグアナが好きです。ライトグリーンの鮮やかさに加え、タテガミがあり、いまはやりの怪獣そっくりですが、その動作には何んとも云えぬ愛嬌があります。」

飼育場は屋上にあり、約半畳程のテラリウムはすべて手作り。窓もサッシを利用した立派なものです。常時25°C~30°Cの温度が保たれ、湿度、空気調節もすべてオートマチックというデラックスぶり。コンクリート床の下にはニクロム線が敷かれ極寒期でも床温度は20°Cに保たれる。天井には自動噴水装置もある。

「丈夫な生き物ですからあまり手間はかゝりませんが、買った時は衰弱したものが多いためエサ付けが一番苦労します。

でも、何日も食べなかったものが苦心の末、食べてくれた時は、苦労も何も吹っ飛びます。顔に似合わず非常に神経質な動物で、工事の騒音やチョットした光の刺戟でもエサを食べなくなったり、ケイレンを起して死ぬ事があるので目が離せません。」

近頃では奥さんも掃除やエサの手伝いをされる

そうで、エサを忘れてたりするとお小言が飛ぶそうだ。だから皆、健康で美しい。

「東南アジアへ行ってトカゲを集めてこようと思っっています。そして繁殖するのが夢」だと語られる田中さんの手からむさぼりつくイグアナたちの旺盛な食欲に驚き、その鮮やかな色彩に何時までもみとれていました。

(中川道朗)

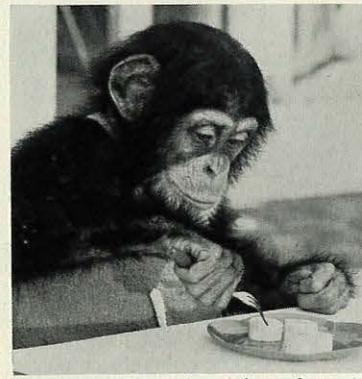
# 動物園ニュース

## ☆ゴリラのゴロちゃんの散歩



ゴリラのゴロちゃん(おす2才)は4月に入園以来成長すくすくしています。動物園では、きびしくしつぱな演技もできるようになっています。最近では、朝夕の食事のときは椅子に座って牛乳を入れたコップを手でもって上手に飲むようになりました。また、夕方にはずぼんをはき、帽子をかぶって園内を散歩させてもらっています。飼育係の兄さんに手をつないでもらって上手に立って歩いているところはほんとにユーモラスです。(写真)これが、最近では入園者の人気を集めています。

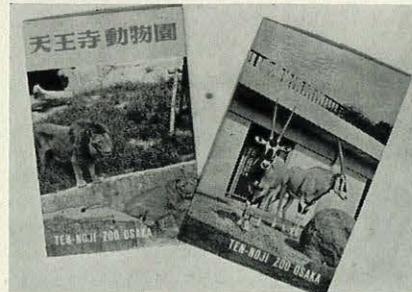
## ☆チンパンジーのよう子ちゃん



昨年の秋に入園したチンパンジーのよう子ちゃん(めす2才)はいよいよこの秋からステジをふむことになり、目下テーブルマナーやいろいろな演技の練習に余念がありません。まだまだ充分なことはできませんが、オドオドした表情が

また大変可愛らしく、人気を呼ぶことでしょう。

## ☆美しい“えはがき”ができました



かねてから入園者の皆さんから御要望のありました動物園のカラーえはがきがこのほど2組(写

真)でき上り、発売されることになりました。8枚1組で、80円です。動物園の入園記念にぜひお求め下さい。

## ☆動物愛護週間の行事

### 家畜動物感謝祭が行なわれました



9月24日、秋晴れに恵まれた彼岸の中日に恒例の家畜動物感謝祭が行なわれました。今回は動物園改造工事に伴って慰霊碑が移された最初の祭とあって入魂の意味もこめて盛大に行なわれました。動物代表としてゴリラのゴロちゃん(写真)、チンパンジーのキャンデーちゃん、ふたこぶラクダのラクちゃんが玉串をさげました。

## 乳牛の搾乳実演



9月24日、大阪府農林技術センターと久保田鉄工の協力でホルスタイン2頭が園内に展示され、午前午後の2回搾乳機(ミルカー)による搾乳実演が行なわれました。牛を見たことのない都会の子供たちは、乳牛の大きな乳房から搾られる牛乳に目をみはっていました。

## 市民の皆様へおねがい

ペット熱が盛んになり動物を飼育される方も多くなりましたが、都合で飼えなくなったといって動物園に寄贈を申し込まれる方がたくさんあります。

しかし動物園でも収容数その他の事情によりお受け出来ない場合がありますので、あらかじめ飼育係(771-8401)までご連絡下さい。

なきごえ 昭和42年10月15日発行（毎月1回15日発行）第3巻第9号（通巻29号）

編集人／和田辰巳 発行所／社団法人大阪市天王寺動物園協会

大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 771-8401

定価 40円

